

case 01

福祉

県中児童相談所
相談判定課

私は

可能性に満ちた子ども達
が好き！

わたしを表すキーワード

5

keyword 01

#三児の父

年子2人と0歳、大好きな3人の子どもたちから日々沢山のことを学んでいます。遠慮のない、笑顔あふれる関係でたいです。

keyword 02

#ランニング

「心の疲れは体の疲れで取ろう！」と、仕事の前後や休日はランニングへ。私にとって集中できるリラックスタイムです。

keyword 03

keyword 04

#お笑い好き #DIY

keyword 05

#お酒好き



子ども達の笑顔が福島の希望の光となりますように

保護者から相談を受け対応する相談業務や、状況によりお子さんを保護する場合の対応、子ども達の生活に関わる関係機関との連携業務が主な仕事です。仕事の方向性としては「明確なゴールに導く」というより「一緒に考える」ことがメインなので、相談者の困り事が解消されたときは「役に立てたかな」と感じます。

県職員を目指した理由

日々の生活の中で、「自身の人生のテーマは子どもと過ごすことだろう（そうありたい）」という思いが強くなり、子ども達の人生に関わる仕事をしたいと県職員を志願しました。



とある一日のスケジュール

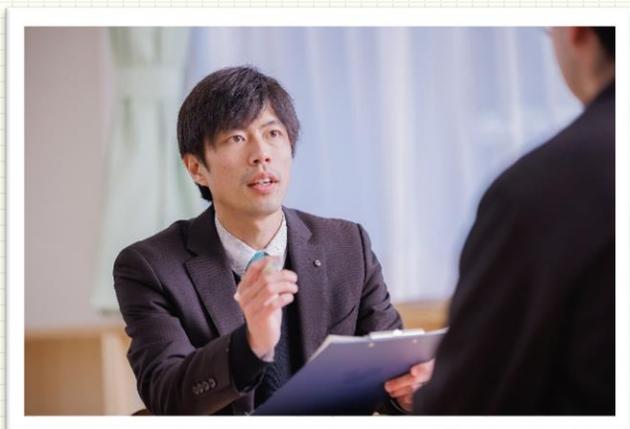


入庁前後で感じたギャップ

公務員と聞くと、厳しく、カたい仕事や雰囲気を想像していましたが、業務についての指導はもちろん、スキマ時間でのコミュニケーションがとてもフレンドリーで、居心地よく感じています。一方で、仕事に対する責任の重さを感じる場面もあります。メリハリある職場で、しっかり成長しないといけないと思い、日々勤務しています。



福島県職員として、実現したいこと・目標としていること



人がともに生きていく上で「自分に対し素直で、他人と協力する気持ち」が大切だと思っています。子ども達を取り巻く環境に大小様々な立場から関わらせてもらう中で、福島に生きる子ども達が悪難を乗り越え、社会で伸び伸びと生きていくことに寄与したいと考えております。

(令和5年3月現在)